同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

③同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

おきなわ同友会しんぶん

ニライ みらい

2015年（平成27年）
9月号
No. 330
発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小禄1831番地1　沖縄県産業支援センター603号
☎.098-859-6205㈹　FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

21世紀に輝く No.145

「昭和の香りのする沖縄食堂」とネットでも評判。四十三年間、沖縄市美里の税務署近くにあった「ハイウェイドライブイン」が七月一日に沖縄市登川に移転。代表の仲宗根さんに聞きました。

43年続く味とスタイルが魅力！

ハイウェイドライブイン　代表　仲宗根（なかそね） 朝一（ちょういち） 氏

復帰の年からスタイルを守る

一九七二年（復帰の年）に、先代（父）が以前からあった「ハイウェイドライブイン」を居抜きで買い取り、そのままの看板でずっと続けてきました。父は嘉手納基地、リージョンクラブのコックを経て晴れてオーナーになりました。一緒に切り盛りしていた母が十五年前に急逝し、私が店に入りました。子供の頃からずっと店の手伝いをしていたので苦にはなりませんでしたが、大学卒業後は土木のコンサルタント会社で設計士をしていたので随分畑違いかな？

早いもので四十三年間、定番のランチ（A／B／C）を中心に、そばやおかず等沖縄風和食系を追加してここまでやってきました。スープやカレーは作り置きではなくオーダーが入ってから作ります。アイスティーの飲み放題や甘味料は好みに応じてというスタイルも昔からそのままです。

数年前、役所から道路拡張のための立ち退きを言われた時は慌てました。急いで不動産屋を当たり今の場所に決めました。沖縄北インターから国道を横切って真直ぐ数百メートル入って、コンビニを右折。300m先左側にあります。

移転とともに新しい動きも

美里時代は夜中の二時まで営業していましたが、さすがにここはうるま市の境で、夜は車も少ない田舎道。九時半ラストオーダーの十時まで。朝は十一時から。

前の店の雰囲気はそのまま残したかったので配置はほぼ真似たのですが、構造上、左右が正反対。おかげで動きに慣れるまでが大変。右手にあったものが左側、少々混乱です。古い常連さんも沢山訪れてくれるのですが、「遅い！」と時々お叱りを受けます。早さも売りの一つなので改善中です。

店を移る前は不安で一杯でした。通行量も少ないし住宅街も離れています。近くに中頭病院の建設が始まっており、また沖縄データセンター（ODC）からじんぶん館へ通じる道がやがて開通するので、それまでの一、二年は辛抱だなあと。

しかしフタを開ければ予想外。三倍近いお客さんの入りで驚いています。

新規のお客さんが増えました。ステーキハンバーガーなどの持ち帰りも好調です。前は少なかった女性客が増えたのも新しい動きです。ランチはCランチが良く出ます。男性客も最近はダイエット志向で胃袋が小さくなったのでしょうね。

ついて来てくれた従業員に感謝

従業員は十五名。二交代です。移転の時、数名辞めましたが大半はついて来てくれました。イオンが出来て賃金高騰もあり、なかなか人が採用できないので、とても有難いです。米留学中の長男も夏休みは手伝ってくれて、次男と娘も休みの間は手伝ってくれます。私自身も親の手伝いは当たり前だったので子供たちも同様です。

水曜日が定休日ですが、さすがにまだ休んだことはありません。新しいお客様がそのまま定着してくれるか？ 古い常連客も通ってくれるか？ 何の保証もありません。今はとにかくひたすら頑張るだけです。

四十三年続けてきた味とスタイルを守りながら、お店の安定と成長を願うだけです。

（聞き手・中部支部・㈱夢づくり沖縄・新井良直）

移転オープンした店舗外観（上）と店内（オープンキッチン）の様子（下）

《会社概要》

ハイウェイドライブイン
代表　仲宗根 朝一 氏
所在地／沖縄市登川701
TEL／098-937-8448
事業内容／レストラン

第10回 雇用・就労支援フォーラム

と き　10月3日（土）
昼12時～午後6時45分
ところ　沖縄コンベンションセンター

＜第Ⅰ部　基調講演＞
テーマ　誰もが働ける社会の実現をめざして
～障がい者の「働く」を支えるとは～
講　師　厚生労働事務次官
村木厚子 氏

＜第Ⅱ部　分科会＞
第1分科会：雇用している企業の報告
第2分科会：支援する側からの報告
第3分科会：連携づくり
～パネルディスカッション～
第4分科会：学校の取り組み
～パネルディスカッション～
第5分科会：就労困難者支援

＜第Ⅲ部　交流懇親会＞

＜資料代＞
1,000円（分科会）
2,000円（分科会・交流懇親会）

茶論

暑い・熱い八月が過ぎた。スポーツでは高校の甲子園大会、世界陸上等で沸いた。一方、広島・長崎への原爆投下、終戦記念日と、今年の八月は戦後七〇年ということもあり、これまでになく平和について考えさせられた▼とりわけ首相の談話は国内外から注目の的となった。内容の評価は別にして、何故七〇年経っても日本の首相談話が注目されるのか。第二次世界大戦の敗戦国は日本だけではない▼対照的に、ドイツは「過去に目を閉ざすものは現在にも盲目となる」（ワイツゼッカー元大統領の演説）に示されるように、ヨーロッパ諸国民への謝罪と今なおナチスへの追及が世界の信頼を得ているのではないか▼沖縄は、太平洋戦争で唯一地上戦を体験した県民として、平和の尊さを訴えていく責務がある。七月に岩手県で開催された中同協総会の分科会で、照屋義実相談役は、「地上戦の教訓は①軍隊は住民を守らない②基地があるところはターゲットとなり攻撃される③命どぅ宝。この三つの教訓をしっかりと刻みながら子どもたちに伝えていきたい」と結んだ▼あらためて「すべての人が、人間らしく豊かに平和に暮らせる環境であってこそ、中小企業と地域の繁栄があります」（中同協第47回定時総会議案）に確信した。

全国総会 in 岩手

人を生かし、企業を変え、持続可能な地域をつくろう

七月九・十日に岩手県で開催された中同協第四七回定時総会には沖縄から十一名（全国から一〇一七名）が参加。第四分科会で照屋義実相談役（㈱照正組社長）が「戦後七十年、中小企業・地域経済と平和について考える」のテーマで報告。第六分科会では宮城光秀副代表理事（㈲大宮工機専務）がパネリストをつとめ、今回寄稿いただきました。

＊＊＊＊＊＊

中同協第四七回定時総会の第六分科会「採用・教育の一貫した実践で、地域になくてはならない企業へ」にパネリストとして参加しました。自社の新卒採用・社員共育の実践と、沖縄同友会の共同求人活動の取り組みについて報告しました。

1日目にひらかれた総会の様子

宮城光秀氏

新卒採用を始めて五年が経過し、先輩社員たちが「新入社員は何かやらかすものだ、自分たちもそうだった」と温かく見守り、寄り添って育てようという雰囲気になってきました。

また、沖縄同友会では学校と定期的な就職懇談会を行い、就職についての意見交換や対策等を議論してきました。懇談会で話し合った先生が「大宮工機という会社があるから受けてごらん」と学生に勧めてくれたお陰で、採用につながりました。社会人として未熟な若者を育てられる会社がよい会社。企業の使命は、地域の若者を一人前にすることだと思います。

最後に、座長の和田寿博氏（愛媛大学法文学部教授）が、「労使見解」に基づく「人を生かす経営」の総合実践は、キャリア教育、共同求人、社員教育を一貫して取り組むことを強く強調しました。この分科会で体系が示されたと思いますので、各同友会で検討し実践して頂きたい、とまとめました。

政策　県の担当部局と懇談

観光産業の振興について県と懇談会を開催

会員の皆さんに協力いただいた「政策要望・提言のためのアンケート」回答をもとに作成した要望・提言書を六月十一日県に提出。それをもとに各担当課との懇談会を実施しました。

八月十日の二十一世紀ビジョン・基本計画を皮切りに、女性、観光、建設、福祉、環境、情報、一括交付金、金融・税制・県単融資・憲章・条例と、全部で九部門。

同友会からは、業種部会や政策委員会、正副代表理事が出席し、中小企業の現状を踏まえ、意見交換。

中小企業の組織づくり

㈱経営戦略オフィス
代表取締役　井海宏通
TEL：098－857－3278

無駄な努力をなくそう

同じように仕事をしていても成果を出せる人と出せない人がいます。会社に置き換えても同様です。同業種の会社同士で比較しても、利益の出ている会社と出ていない会社があります。社員が毎日残業しているのに会社は赤字、というケースも少なくありません。

仕事をサボっている訳ではないのに、どうして結果が出ないのでしょうか。一番の原因は、無駄な動きが多いからです。

顧客が求めてもいない部分に時間や原価を掛けるのは無駄な努力です。顧客が割増料金を払ってくれない分は、仕事ではなくボランティアです。買う気の無い客に足しげく通う営業も報われません。読まれもしない提案書も無意味です。

真面目な事務職は手が空くと余計な仕事を作りたがります。誰も活用しないデータや資料が社内に溢れていないでしょうか。

そもそも、会社でも個人でも得意・不得意があります。不得意な分野でどれだけ頑張っても、元々それを得意とするライバルには勝てません。それこそ、無駄な努力です。勝負するなら強い分野です。

時間は有限です。努力するなら報われる努力を。仕事には合理性が必要です。

社労士・コンサルタント 青山喜佐子の 知って得する シリーズ119

「無期転換ルール」はいつから？誰に？

「契約期間が五年を超えると正社員になれるのですか」。労働者から質問が増えています。

有期雇用が五年を超えて更新された場合、労働者の申し込みにより無期労働契約に転換することを「無期転換ルール」といいます。これは「正社員になる」というより「期間の定めのない労働契約」になります。（改正労働契約法）

五年の期間は、平成二五年四月一日から計算されますので、該当する労働者が申し込みできるのは平成三〇年四月一日からです。契約社員のいる企業では、申し込みをしたかどうかの争いを防ぐために、「無期労働契約転換申込書」を作成しています。

このルールと関連して平成二七年四月に「有期雇用特別措置法」が施行されました。①高度専門職・②継続雇用の高齢者に、無期転換ルールの特例を設けました。具体的には

①高度専門職の場合、五年で無期転換になるのではなく、プロジェクトの完了期間（最大十年）を超えた場合となります。

②定年後の継続雇用の高齢者は、その事業主に定年後引き続いて雇用される間は無期転換とはならない。

この特例を受けるには「認定申請」を労働局に出す必要があります。定年後の継続雇用者は多くの企業に関係すると思われます。

パート、契約社員等の有期雇用者が安心して働ける環境整備は、雇用政策の重要な課題となっています。

（施行前の情報提供でした。）

〈プロフィール〉
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
オフィスあるふぁ
TEL/098-870-6686

青山喜佐子（あおやまきさこ）
（オフィスあるふぁ代表）

第26回 経営研究集会 & 2015年全国共同求人交流会 in 沖縄

若者が育つ魅力ある企業と地域づくり

2016年11月26日（木）13：00～27日（金）12：30 開催

会場　ホテル日航那覇グランドキャッスル

基調講演

若者の中の世界、世界の中の若者
～無限の可能性を導くために～

大東文化大学 学長
太田　政男 氏

21世紀は「若者」の時代と言われる。一方に、荒れる若者の姿があれば、他方に引きこもる若者がある。両者に、したがってすべての若者に共通するものは何か。市場原理が至上とされ、「自己責任」論に囲まれる社会で、若者は孤立化していく。生きる根拠となる「自信」と「誇り」を持ちにくい。他者を発見できず、共同する契機を得にくい。若者の生育史、環境の中から探ってみたい。そういう若者が、自分のアイデンティティを見つけ、他者と出会い、世界を我がものとする道筋はどのようなものなのだろうか。現代の社会は、大人は、かれらのためにどのようなことをすべきなのか、また可能なのか。「出番」こそが若者に必要である。「出番」は、意欲と創造性と責任感を育てるだろう。

問題提起・パネルディスカッション

若者が育つ 魅力ある企業と地域づくり
～源流より広がった各地の活動に学ぶ～

提起者・コーディネーター　㈱エム・ソフト 代表取締役会長 小暮 昌一 氏 中同協共同求人委員長
パネリスト　㈱ティーピーバック 代表取締役 池川 和人 氏 北海道同友会 共同求人委員長
パネリスト　㈱デイ・リンク 代表取締役会長 川口 康之 氏 広島同友会 広島4支部求人担当教育委員長
パネリスト　川畑頃嘉税理士事務所 所長 川畑 順義 氏 沖縄同友会 共同求人委員長

人材不足が大きな問題になっている今、地域の若者を採用し育てることは、中小企業で働く喜びや魅力を知る人々を地域の隅々に増やし、自社の存立基盤を強く、豊かにすることにつながります。このパネルディスカッションでは、同友会発足当初から共同求人活動に取り組んできた北海道、広島、そして沖縄での今までの歴史や現在の活動から、自社の成長とともに、同友会として人を地域に残す可能性を学びます。

1分科会　共同求人

採用と共育で、信頼し合える社員を！
～採用から共育へ、同友会の目指す人を生かす経営の実践報告～

報告者

㈱シーキューブソフト 代表取締役 佐々木 喜興 氏 教育委員長 台東支部長

組織作りの失敗とリーマンショックで最大の経営危機に、売上の大幅減、止まらない社員の退職。そんな中、共同求人委員長の打診があり、学びの機会と考えお引き受けする。求人と教育に深く関わり「人を生かす経営」で様々な気づきを得ます。「社員が辞めない会社作り」に取り組み、社員の定着率向上と共に業績回復、その経営体験を報告します。

2分科会　経営指針

経営者の責任
～自分を律する・経営の中心に社員の幸せを置く～

報告者

マエダ電気工事㈱ 代表取締役 真栄田 一郎 氏 副代表理事

創業者から金庫のカギを投げ渡されて事業承継がスタート。社員と向き合うことが怖くて営業活動と言っては社員との対話から逃げる毎日。新社長としての実績が欲しくて始めた新事業が、戦略ミスで大赤字。これまでの過ちを社員から指摘され、よき経営者になることを誓います。「自分を律する・経営の中心に社員の幸せを置く」と改心して経営指針を社員と共に作成し、社員と共に実践するわが社の取り組みを紹介します。

3分科会　社員教育

社員満足度＝成長実感
～働く社員の姿こそが若者を惹きつける！～

報告者

田代珈琲㈱ 代表取締役 田代　和弘 氏

入社後3年経過すると退職するという荒んだ組織に悩んでいる中、「新卒者が半分になったら会社は変わるよ」という同友会の先輩経営者のアドバイスから新卒雇用にチャレンジ。しかし、その意味は新卒者を採用したら貴方が変わるよという意味だったのです。経営者が新卒者に共育されたわけです。田代珈琲の社員教育は経営者が共育されたことが全てのスタートです。この分科会は人間性の成長を主体とした共育を学ぶ場としていきます。

4分科会　地域づくり

今帰仁村「あいあいファーム」奮闘記
～農業の6次産業化と食育・モノづくりを通して地域の活性化に貢献する～

報告者

㈲アメニティ 代表取締役 伊志嶺　勲 氏

31年前に外食産業として起業しましたが、食に携わる仕事をしていく中で、食べ物と健康の関係、日本の食糧事情、少子高齢化による地域の疲弊等、食をめぐる様々な問題に気付かされました。

4年前より廃校になった小学校を活用して、6次産業化、モノづくり体験、観光産業とのタイアップにより、食育の普及と地域の活性化に取り組んでおります。

5分科会　労使見解

人から出発する企業を目指して
～「三位一体活動」の実践で我が社はこう変わった！～

報告者

協栄工業㈱ 代表取締役 佐藤 総一 氏 共同求人委員

「労使見解」の精神を取り入れた経営指針を成文化して15年が経ちました。新卒採用に取り組み、経営理念を学生に伝え続けることで、理念に共感してくれる学生が毎年入社するようになりました。今では6割が新卒で採用した社員となりました。理念をベースとした共育を行い、社員一人ひとりが成長することで企業体質が変わってきました。社員を最も信頼するパートナーと位置づけ、「会社の未来は社員の成長にかかっている」と言い切り、実践している報告です。

6分科会　障害者問題・見学

全員が主役の感動創造企業をめざして

報告者

㈱沖縄教育出版 代表取締役会長 川畑　保夫 氏

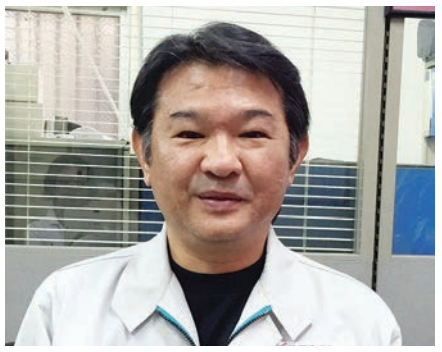
障がい者雇用が始まって14年目に入ります。「心身に障がいがあっても仕事に障がいはない」「税金の消費者から納税者へ」が私たちの障がい者雇用のミッションです。私たちの会社が最も大切にしているのは組織風土です。月曜日の朝に、全職員がルンルン気分で出社できる会社です。社員同士がお互いを理解し、よい組織風土を醸成するために毎朝、長い時には2時間もかけて行う「みんなが主人公になれる場所「朝礼」」は、なくてはならないものになっています。（定員30名）

わが社のポリシー

第253回

津堅事務用品店

代表者 津堅（つけん） 直樹（なおき） 氏



津堅直樹氏

地域の文具店から承継・発展

屈託のない笑顔がチャーミングな津堅社長。「津堅事務用品店」は、もともと祖父の代に文具用品店を開業し、その後は父から母へと承継され地域の文具店として定着しました。ところが、津堅社長は家業の文具店経営には関心がなく、事務用品の専門会社に就職し建築資材部門に在籍。そのまま勤め上げる予定でいたところ諸事情や、お母様からの要請もあり、引き継ぐ事を決意。

平成十七年に名義変更し「津堅事務用品店」として開業に至りました。前職の経験も活かし、今までの文具メインの業務内容からオフィスの床や事務用品の設置、パーテーション工事、さらにはLAN配線工事なども受注できる体制へと変革。開業二年後には弟さんも入社され、さらに従業員も七名へと増員。現在はバイトや派遣も合わせると十余人の体制へと発展しているそうです。

自社の目指す方向は

順調に業績を伸ばしてきた津堅社長も、営業として雇用した職員から「我が社の目指す方向は何ですか？」という質問をきっかけに、経営理念の必要性を自覚。さらに、税務面での相談をしたいと思い立ち、入会していたものの参加していなかった同友会活動をスタート。例会にも参加することで、多くの学びがあったそうです。経営指針作成講座は受講したものの、成文化まで至らなかったそうですが、その際のグループ討論でのメモや助言は、今も参考にしているそう。

現在、法人化に向けて準備しており、同友会で知り合った税務や労務関係のプロの意見を聞きながら進行する予定だとか。会社の発展を考えるには、改めて同友会での学びがより必要なので多くの方々と親交を深め、アドバイスを取り入れていきたいと語って下さいました。その際に、改めて経営理念や経営指針が必要なので、法人化をきっかけに再度取り組みたいと考えています。

地域の方に喜んでもらいたい

文具に限らず、オフィス全体の工事をはじめホテルやチェーン店の内装関係まで手がけ、さらに地域の方に喜んでもらいたいと、中元やお歳暮にも贈れるお米やコーヒー、そうめんまでを扱い、無限のアイデアがあふれる津堅社長。将来の夢を伺ったところ、「やはり事務所関連ベースの仕事を充実していきたい」とのこと。オフィス家具の組み立てや配達は、元来の仕事に戻った喜びがあるそうです。心から自らの仕事が好きなんだなと津堅社長の人柄を垣間見たように思いました。

（㈱カリタス・根橋理香）

津堅事務用品店

代表者 津堅 直樹 氏

所在地／那覇市泉崎 1-22-6
ＴＥＬ／098-866-4900
事業内容／内装工事、パーティション・ＯＡフロアー・ＬＡＮ工事
ＵＲＬ／http://tsukenjim.ti-da.net

フォトで見る8月の活動

宮古支部で開催された新会員オリエンテーション

中部支部設立月訪問で記念品を贈呈（でいごホテルにて）

新会員オリエンテーションで新会員さんにバッジ贈呈（写真左：小渡代表理事）

役員研修講座第３講で報告する新城代表理事（右）と真栄田副代表理事

女性の地位向上・社会参画について県と懇談会

役員研修講座では仲間づくりをテーマにグループ討論

建設産業の振興について県と懇談会を開催

中部支部経営学習会での西平守利氏

経営サポート学習会で講師をつとめた宮城勇氏

那覇支部８月例会で報告する森山勝也氏

南部支部＆碧の会合同例会で報告する根橋理香氏（写真左）

北部支部＆経営委員会合同例会でのグループ討論の様子

大学との就職懇談会を開催し、担当者と意見交換

那覇支部例会・森山氏の講話を受けてグループ討論

うりずんのランチェスター学習会の様子

那覇支部南地区例会で報告する財津英郎氏

同友会大学第２講で講義する新城俊昭先生

同友会大学第８講で講義する山本和儀先生

宮城勇氏の経営体験に学んだ浦西支部例会

台湾の環境ビジネスについて学んだエコま～る例会

那覇支部南地区例会で報告者する三木一成氏

那覇支部資金繰り学習会

那覇支部北地区例会で報告するハッピーブレスの神ひろみ氏

ビジョン最終年度
1250社を達成しよう
～経営課題としての会員増強～

1 取引先と共に育つ

得意先、仕入れ先など様々な取引先が入会し、同友会で学び、経営指針の確立などを通して、企業の体質を強化することは、自社の経営の安定につながるとともに、これまで以上に切磋琢磨しあって質の高い仕事に挑戦することが出来ます。

2 「ミニ例会」学びの場

会員増強で相手先の企業の経営課題や悩み、業界の動向、地域戦略などを聞き、その解決の方法を共に考えることは、自分自身と自社にとって貴重な学びの場です。会員増強のための企業訪問を「ミニ例会」と考え、訪問先では「討論」しましょう。

会員ホット情報
今おすすめだよ！

㈲富士製菓製パン
老舗のパン屋さんから生まれた新感覚のあんぱん

創業六十年の老舗のパン屋さん「富士製菓製パン」といえば、「うず巻きパン」「でかウズ」「久松五勇士」が定番ですが、また新たに期待大のスイーツが登場しました。

今年、宮古島を代表する特産物の一つ「紫芋」を使用したスイーツコンテストで、見事「最優秀金賞」を受賞した「生クリーム紫あんぱん」がその逸品です。「あんぱん」というよりも、そのフォルムはスイーツそのもの。見た目の可愛らしさで、まず目を引かれます。驚きは冷たいこと！ひんやり・ふんわりとした生地の中に、脂よりも乳の味でさっぱりな生クリームと主張のある紫いもの餡のバランスが絶妙で美味です。考案したのは、ご長男の上地隆徳さん。

生クリーム紫あんぱんが手に入るのは、宮古空港二階のおみやげ店「砂山」でのみ。店頭限定販売です。「砂山」でお買い求めになるお客様の中には地元客も多いとのことで、島内での注目度が伺えます。

「若い人のアイディアをどんどん生かしてほしい」同時に「先代から受け継いだ技術や理念を次世代へ繋いでいくことが今後の課題」とも。

「地域の繋がりをもっと高めた環境が、将来の子供達の為に大切なこと。現在の閉鎖的な一面をもった世の中に寂しさを感じます。食育を通してもっと人との関わりを持つことや、心を豊かにする手助けができると嬉しい」と、にっこりと微笑む取締役の上地克江さんでした。

（取材：ひろし不動産・砂川千賀子＆富士自動車整備センター・宮国美奈子）

少し緊張気味？ 宮古空港売店「砂山」のスタッフ

“あんぱん”なのに“スイーツ”
若い世代のアイディアで誕生

㈲富士製菓製パン
取締役　上地（うえち） 克江（かつえ） 氏
所在地／宮古島市平良西里1135-1
ＴＥＬ／0980-72-2541
事業内容／製菓・製パン
ＵＲＬ／http://www.uzumakipan.com/index.htm

フェイスフェイス 276

神谷（かみや） 嘉津美（かつみ） さん
㈱昭和制作
（会員：代表取締役　赤嶺竜司氏）
所在地／那覇市高良3-12-25
ＴＥＬ／098-857-0941
事業内容／屋外広告業（看板、広告塔の企画・制作・設計・保守・管理業務）
ＵＲＬ／http://www.showa-sign.jp/

公共施設やホテル、店舗などの看板をトータルプロデュースする㈱昭和制作。今回は、看板の顔とも言うべきデザインを担当するデザイナーの神谷嘉津美さんにお話を伺いました。

神谷さんは入社二年目の二六歳。職業訓練でデザインを学んでいたところ、スタッフ募集があり応募。見事採用されて、希望通りデザイナーとして奮闘中だそうです。

平面のデザインとは違い、看板は立体的な上に屋外に設置するもの。また、朝晩で見え方も違う。設置場所の条件や、取り付けられた後の仕上がりを想像してデザインするのは本当に難しいと話してくれました。

仕事のやりがいを訊ねると「お客様に喜んで頂いた時」と即答。お礼のメールを直接頂いたことがあり、やりがいを実感したそうです。

会社の雰囲気を伺うと明るく楽しい方が多いそう。社長は厳しいところもあるが、優しい心遣いがあるという事でした。

面白い取り組みとして昭和制作では、社員から会社を改善する為のアイデアを募集しているそうです。

実現例として、音がなく寂しいので音楽をかけて欲しいと提案した結果、有線放送が導入されたり、デザインの参考となる資料費の計上を認可したことがあるそう。神谷さんも休憩スペースであるテラスにイスとテーブルの設置を提案し採用されたそうです。赤嶺社長の改善姿勢を垣間みる事ができました。

十月に開催される「沖縄県トータルリビングショウ」にも新規事業の展示をする予定だとか。チャレンジし続ける企業の社員も、やる気と活気が満ちている事を実感しました。

（㈱カリタス・根橋理香）

読者の声

「あっ、うりずんのランチェスター学習会でお会いした方だ。」竹田社長（㈲カープロショップ・21世紀に輝く）の笑顔写真に思わず声が漏れ、紙面を読みながら改めて同友会は勉強する経営者の集まる場と実感しました。

喜名社長（㈱大成ホーム・わが社のポリシー）の言葉「会社は、社長のやる気と勇気で決まる」を自身へ置換え、フォトで見る活動の様子を眺めながら二つの事を決めました。一つは、多くの会員にお会いしたい、二つ目は、良い経営者になることです。

顔を拝見したことのある方の物語は、勇気とエネルギーを与えてくれます。先ずは、イチゴのタルトを買いにプールヴー源河社長（だっからよ～）に会いに行きます。

（ハタワークス・大城朝野）

第3回 合同企業説明会
参加企業募集中！

日　時　10月27日(火)
午前10時～午後４時

会　場　沖縄産業支援センター
１Ｆ「ホール」

参加費　スポットコース
５０,０００円
チャレンジコース
１０,０００円

※今年度最後の説明会です。
ぜひご検討下さい !!

編集後記

子供の夏休みが終わり、やっと日常に戻った感の九月。我家では、小・中・高と子供たちの学期スタート日がバラバラだったため、ペースを取り戻すのは大変。それでも元気に登校してくれる姿を見ると、安心する。安全な学校で学ぶ環境は何よりありがたい。九月はシルバーウィークもある。老人が安心して過ごせる環境はどうだろうか・・・（長）

県内初
新世代の高精細印刷技術
FMスクリーニング導入!!

平成19年３月16日、環境保護印刷推進協議会（E3PA）より、県内初となる環境保護印刷マーク（通称クリオネマーク 認証登録番号Ｓ07-0063）の認証を取得いたしました。

平成19年２月６日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006（プライバシーマーク 認定番号24000306(03)）を取得いたしました。

文進印刷株式会社
本　社／〒901-0306　沖縄県糸満市西崎町5丁目10－14
TEL (098)994-5777(代) FAX (098)852-3008
那覇営業所／〒902－0074　沖縄県那覇市字仲井真201番地18
TEL (098)855-2323(代)　FAX (098) 852-3008
浦添営業所／〒901－2111　沖縄県浦添市経塚　８１１－１４
TEL (098) 879-9303(代)　FAX (098) 852-3008
宜野湾営業所／〒901－2224　沖縄県宜野湾市真志喜2丁目4番16 コーポ下地203号
TEL (098) 898－1055(代)　FAX (098) 852-3008
うるま営業所／〒904－2212　沖縄県うるま市字赤野９４７－１
TEL (098) 974-6911(代)

＜南部支部会員＞

ごはんが美味しい
木製お弁当箱
沖縄子育て良品では
ほっこりかわいい木のお弁当箱をたくさんご用意しております。
お名前入れ
イラスト
お入れします
世界で一つ

沖縄子育て良品
OKINAWA KOSODATE RYOHIN
沖縄うまれでカラダにやさしい、キモチにやさしい
☎098-996-2550
カード利用可　駐車場有
住所 南風原町宮平259-101
Email shop@kosodate-ryouhin.com
定休日 日曜（第1日曜を除く）、祝、第１月曜
営業時間 10:00～17:30
ご来店お待ちしております！

＜那覇支部会員＞